



門 13
號 3785
卷 85

倚
交序

中十之編



了身應侯作

強川國貞

新二重多粹

釋迦八相倭文庫四拾三編叙

淨土三部經内觀無量壽經ハ摩伽陀國王舍城の頻婆

菴羅王又稱沙の太子阿闍世又衆樂提婆達多又調達の勸小

初又父王を七重の牢獄小幽閉多て乾殺奉らんとする

説を原とせり是信小無上の惡逆れどもとハ惡と以て惡と

懲善を以て善を勸むる都て教書の深意なり然ハ幾

等を能勘弁て人道の專とする父子の道小違へり

昔安政己未夏脱稿

庚申陽春發市

方亭應賀識

倭文庫四拾三編上



世尊切利天寺に
おのこ轆曇弥と
優陀夷その外仙洞
の上膳達不
戒を授け

うだいの女房
うだいのゆい



きんぐんを

せせん

舍利弗

目連



びんを奪ら王

要を捕む

獄舎の守頭
貪曾官



傳文屋四十三巻上

いざいけ夫人

阿闍世

悪王 頻婆

沙羅王を七重の

牢獄小閉居

せしむ本文豫め

観無量壽経の

さねのいハ
あつをわあ
ひびきしんて
せまへふいま



さねのいハ
あつをわあ
ひびきしんて
せまへふいま

あつをわあ
ひびきしんて
せまへふいま



さねのいハ
あつをわあ
ひびきしんて
せまへふいま

あつをわあ
ひびきしんて
せまへふいま

安政七年庚申新春新板目錄

<p>金重繪艸紙本類 上州屋重藏版</p>	<p>常磐津懷中本 初編二編 三編四編 小本あり 紙付あり 極上あり</p>	<p>浅草みやげ 五編揃十返舎一九 同 画作</p>	<p>花山吹百人女郎 初編二編 同 柳亭種彦 画作</p>	<p>昔語小栗實説 二編三編 同 松亭金水 画作</p>	<p>重の井菱染別小紋 八編揃 同 為永春水 画作</p>	<p>倭文庫 四十三編 四十四編 四十五編 四十六編 万亭應賀 陽齋豊國 画作</p>
---------------------------	--	--	---	--	---	---



應賀作
國貞画

末代は...
寺門外...
二手...
あり

倭文庫四十三編

